

在外研究先：University of Prince Edward Island（プリンス・エドワード島大学（カナダ東部））

期間：2019年4月から2020年3月

執筆者：田邊義隆（法学部 教養・基礎教育部門（英語））

“I’ve always heard that Prince Edward Island was the prettiest place in the world, and I used to imagine I was living here, but I never really expected I would. It’s delightful when your imaginations come true, isn’t it?”

Lucy・M・Montgomery 作 *Anne of Green Gables* (赤毛のアン)¹の主人公 Anne が、Prince Edward Island（プリンス・エドワード島、以降 PEI）について物語の冒頭部分で述べたセリフです（第2章）。この作品は1908年に出版されたもので、この島で生まれ育った作者を取り巻く自然や街をモチーフにして書かれています。そのため、100年以上経過した今でも島のあちこちに作品中に出てくる自然描写にぴったりと合う美しい風景が広がっており、街中にも物語の一場面を彷彿させるような当時の建物も現存しています。私自身、中心街の Charlottetown に住んでいますが、作中に出てくる大学のモデルとされている旧 Prince of Wales College と、1989年に廃線になったカナダ大陸鉄道の旧 Charlottetown 駅舎との中間あたりで、築100余年の趣深い物件を借りています。改装・改修工事が終わったばかりの建物ですが、床が傾いていたり、雨漏りがしたりと、昔ながらの住み心地(?)を楽しんでいます。観光シーズン（5月から10月）には、*Anne of Green Gables* のファンのみならず、この島の魅力に憧れてやってくる観光客で島中が大いに賑わいます。

PEI はカナダ東部の Gulf of St. Lawrence（セントローレンス湾）に浮かぶ島で、広大なカナダの中では0.1%ほどの面積しかなく²、カナダ全土の地図上では米粒ほどの大きさしかありません。PEI 観光局の公式ウェブサイト³にも、“As a small island province, Prince Edward Island depends on the land and the sea as the basis for its three primary industries—farming, tourism and the fishery（下線部は執筆者による）.”といった具合に表現されています。とはいえ、島自体がひとつの州として成立していますし、5,660km²の面積は大阪府の約3倍にあたりますので、私の感覚ではここを「小さな島」と呼ぶことにはやや違和感を覚えます。また、私は自分自身の身体でこの島のサイズを体感しています。この島には、Confederation Trail⁴という、西端から東端にかけて伸びている全長273kmの遊歩道があり、夏にはサイクリングやハイキング、冬にはスノーモービルを楽しむことができます。大阪駅から浜松駅（静岡県）までの距離とほぼ同じです。私はこの trail を文字通り「端から端まで」自分の脚で走破してきました。この距離を一度に走り抜けたわけではありませんが、この島が決して小さくはないことを、全身筋肉痛を通して実感してきました。



Confederation Trail

<執筆者撮影>



Confederation Trail 完走証明書

<執筆者撮影>

さらに、現在の人口は 158,000 人程度ですから、近畿大学が公表している過去数年の受験者数と同程度です。大阪府の人口が約 8,823,000 人（2019 年）であることを考えると、いかに土地が贅沢に使われているか、想像できるのではないのでしょうか。こちらで出会った友人のひとは Charlottetown から少し離れたところ（車で 20 分程度）に居を構えています。庭の面積は 84 エーカーもあり、近畿大学東大阪キャンパスの敷地面積の 7 割ほどにあたる広さがあります。これは特殊な例ではありますが、こんな住環境を楽しむ選択肢もこの島にはあります。

そんな環境が人々の暮らしぶりにどんな作用をもたらすのか学術的な分析はともかく、肌感覚としては、社会全体がゆったりとしていて、穏やかに時間が流れているように感じられます。あくまでもこの 10 ヶ月における個人的な観察でしかありませんし、この間に緊急事態に遭遇した経験もないことを断ったうえでの感想ですが、中心街の Charlottetown でも日常生活においては交通渋滞に苛立つ必要はなく、長蛇の列に並んで延々と自分の順番を待たなければならないような状況にも出くわしたことはありません。少なくとも、都会の喧騒とは縁のない街であることは間違いありません。テーマパークもなければ、大きなショッピングモールもないため、都会の刺激を求める人にとってはやや物足りない場所に感じられるかもしれませんが、先ほど引用した PEI 観光局公式ウェブサイトの記述にもあるように、観光はこの島の経済を支える産業のひとつです。美しい自然、カナダ建国にまつわる歴史遺産、島の食材を豊富に使ったグルメなど、多様な魅力にあふれた土地です。以下のリンクはこの島から日本語で情報発信しているウェブサイトで、島の魅力がタイムリーに紹介されているサイトもあります。留学や旅行先として現地の情報収集するうえで役立つでしょう。

- ・プリンス・エドワード島観光局（Tourism Prince Edward Island）公式ウェブサイト：
<https://www.tourismpei.com/jp/home>
- ・プリンス・エドワード島の四季（Prince Edward Tours ブログ）
<https://abegweit.exblog.jp/>

・プリンス・エドワード島の風 (PEI Select Tours ブログ)

<https://ameblo.jp/peiselecttours/>

最後に、在外研究先の大学である、University of Prince Edward Island (以降、UPEI) についても少し触れておきます。近畿大学が、大阪専門学校 (1925 年創立) と大阪理科大学 (1943 年創立) を母体として統合し、1949 年に大学として発足した経緯⁵と類似していて、UPEI も Prince of Wales College (1834 年創立) と St. Dunstan's University (1855 年創立) が 1969 年に統合してできた大学で、昨年 50 周年を迎えました⁶。キャンパスの面積は東大阪キャンパスの約 1.3 倍 (140 エーカー) ありますが、学生数は学部生と院生で 4,900 人程度です。東大阪キャンパスの学部生数が約 24,000 人であることを考えると、ここでもゆとりある空間が広がっていることが分かるでしょう。

私の研究分野は英語教育学ですので、ここでは Faculty of Education (教育学部) に訪問教授として迎え入れていただいています。自身の研究として PEI におけるフランス語教育に関する調査を進める傍ら、教育面では主に大学院の授業を中心に関わっていて、私の研究内容 (日本における英語教育事情) を紹介したり、院生の研究を支援したりしています。学部の授業においてもゲストスピーカーとして授業への参加を依頼されることもあり、また、夏季休暇中には、日本人学生対象の語学研修クラスを手伝ったりもしました。このように、微力ではありますが、私の専門を生かして UPEI の教育に貢献することで、在外研究先として受け入れていただいた恩返しができるよう努めているところです。



UPEI Memorial Hall (教育学部棟) の夏と冬
<UPEI ウェブサイトより転載>



当原稿は 2020 年 2 月 9 日に作成しました。在外研究期間も残り 1 ヶ月半となりましたが、最後の一日まで有意義に過ごし、この島で得られた知見や経験を持ち帰り、4 月からの教育・研究に生かしていきたいと考えています。このような貴重な機会の実現にご尽力・ご協力くださったすべての方々に感謝の意を表しつつ、在外研究先の紹介を終えます。

引用元：

1. Montgomery, L.M. (1908). *Anne of Green Gables*, London, England: L.C. Page and Co.

2. “Prince Edward Island”. The Canadian Encyclopedia.
<https://www.thecanadianencyclopedia.ca/en/article/prince-edward-island>, (参照 2020-02-09)
3. “Environment”. Tourism Prince Edward Island.
<https://www.tourismpei.com/pei-environment>, (参照 2020-02-09)
4. “Confederation Trail”. Tourism Prince Edward Island.
<https://www.tourismpei.com/pei-confederation-trail>, (参照 2020-02-09)
5. “創立 100 周年に向けて”. 近畿大学創立 100 周年記念サイト.
<https://100th.kindai.ac.jp/greeting>, (参照 2020-02-09)
6. “About UPEI”. University of Prince Edward Island.
<https://www.upei.ca/about-upei>, (参照 2020-02-09)